

二二七三番

何なにすとか 君きみを厭いとはむ 秋萩あきはぎの その初花はつはなの 嬉うれしきものを

二二七四番

臥こいまるび 恋こひは死ぬとも いちしろく 色いろには出いでじ 朝顔あさがほが花はな

二二七五番

言ことに出いでて 言いはばゆゆしみ 朝顔あさがほの ほには咲さき出でぬ 恋こひもするかも

二二七六番

雁かりがねの 初声はつこゑ聞ききて 咲さき出でたる やどの秋萩あきはぎ 見みに来こわ我が背子せこ